



**FY2023-1Q**  
(2022年10月-12月)

**決算説明資料**

2023年2月10日

**SPRIX** 株式会社 スプリックス

(東証プライム 7030)

## MISSION

---

「教育」を通して、世界中の人に  
「人生の新たなステージ(春)」を届ける。

## VISION

---

「教育」でNo.1へ。

# FY2023-1Q決算説明

---



森塾業績の好調な推移と  
計画通りの基礎学力事業への投資実施

# FY2023-1Q(2022年10-12月)一決算概要

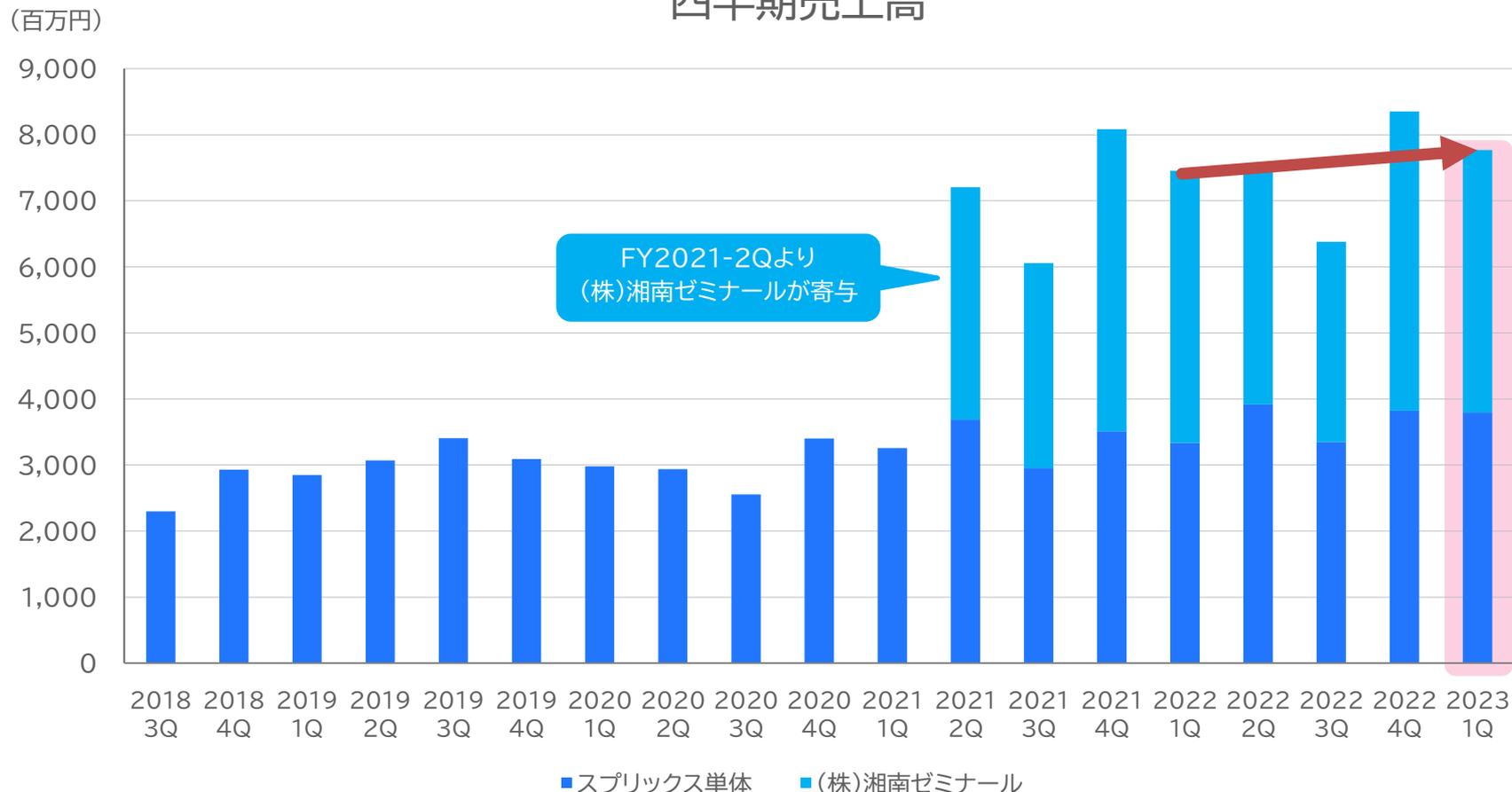
- 冬期講習を始めとした森塾における入塾生徒数が堅調であり業績は安定
- 売上高 : 森塾の生徒数の増加と退塾生徒数の抑制による堅調な業績が牽引し、湘南ゼミナール・河合塾マナビスの生徒数軟調をカバー。連結ベースでの売上高は増加。
- 営業利益 : スプリックス単体にて計画通りの森塾広告(TVCM)と計画通りの積極的な新規事業投資の結果減益

(単位:百万円)	FY2022-1Q (実績)	FY2023-1Q (実績)	増減金額 (増減率、%)	要因
売上高	7,537	7,718	+180 (+2.4%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>スプリックス単体は、森塾の入塾生徒数の堅調さを背景として売上高が増加</li> </ul>
営業利益 (利益率、%)	1,269 (16.8%)	750 (9.7%)	△519 (△40.8%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(株)湘南ゼミナールは、湘南ゼミナールと河合塾マナビスの生徒数減少を主要因として売上高が減少</li> </ul>
EBITDA (利益率、%)	1,547 (20.5%)	1,043 (13.5%)	△504 (△32.5%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画通りの広告費や、基礎学力事業を始めとした積極的な研究開発費等の支出増加により減益</li> </ul>
親会社に帰属する 純利益 (利益率、%)	811 (10.8%)	454 (5.8%)	△357 (△44.0%)	

# FY2023-1Q — 売上高の分析(四半期ごとの推移)

- 森塾の入塾生徒数の堅調推移等により、連結ベースでの売上高は増加
- (株)湘南ゼミナール単体は湘南ゼミナール、河合塾マナビス共に生徒数が減少し売上高は減少

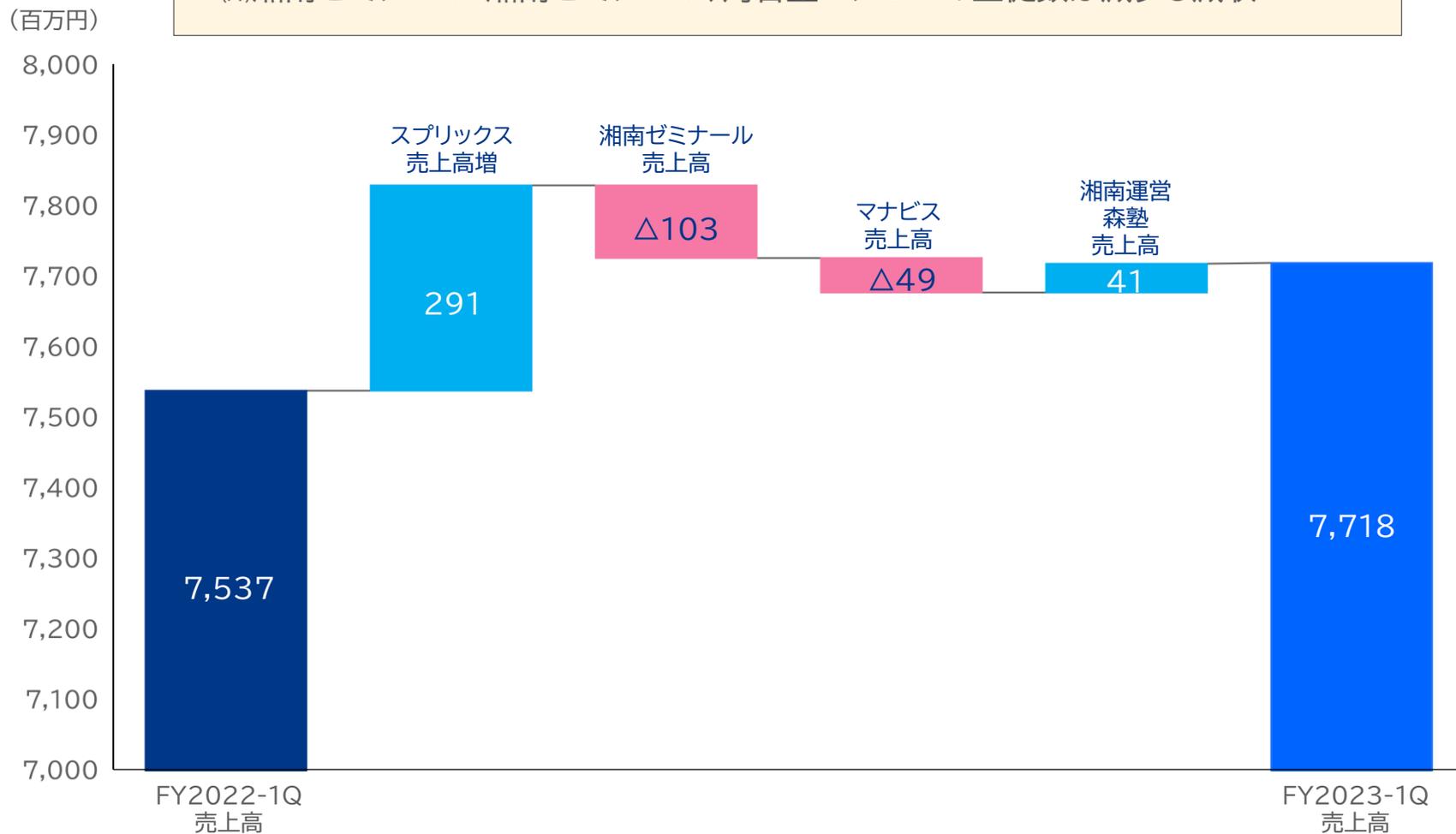
## 四半期売上高



(注) スプリックス単体と(株)湘南ゼミナールの営業成績を表す連結相殺前の数値であるため、合計値は連結売上高とは異なります。

# FY2023-1Q — 売上高の分析(前年同期比の差異)

- スプリックス単体：校舎数増加に加え、森塾の生徒数が安定的に推移し増収
- (株)湘南ゼミナール：湘南ゼミナール、河合塾マナビスの生徒数は減少し減収



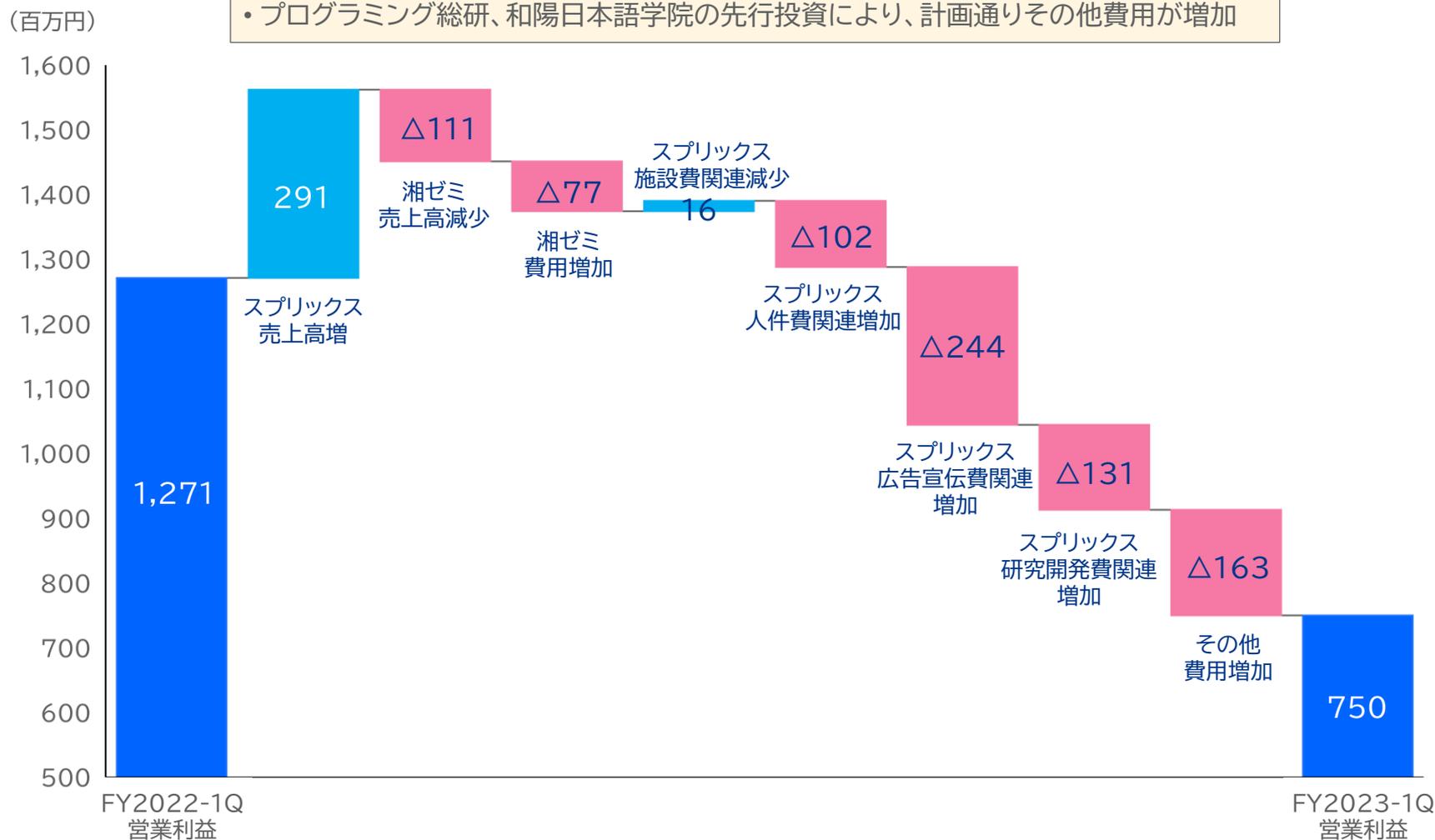
# FY2023-1Q — 営業利益の分析(四半期ごとの推移)

- スプリックス、(株)湘南ゼミナール共に森塾広告宣伝費増加(TVCM)により減益
- スプリックス単体は期初計画通り基礎学力事業への新規事業投資を実施し、研究開発費が増加



# FY2023-1Q — 営業利益の差異分析(前年同期比)

- 森塾広告宣伝費増加によりスプリックス、(株)湘南ゼミナール共に広告宣伝費用増加
- TOFAS、DOJO等の基礎学力事業への新規投資により、計画通り研究開発費が増加
- プログラミング総研、和陽日本語学院の先行投資により、計画通りその他費用が増加



# FY2023-1Q — 期初予想に対する進捗状況

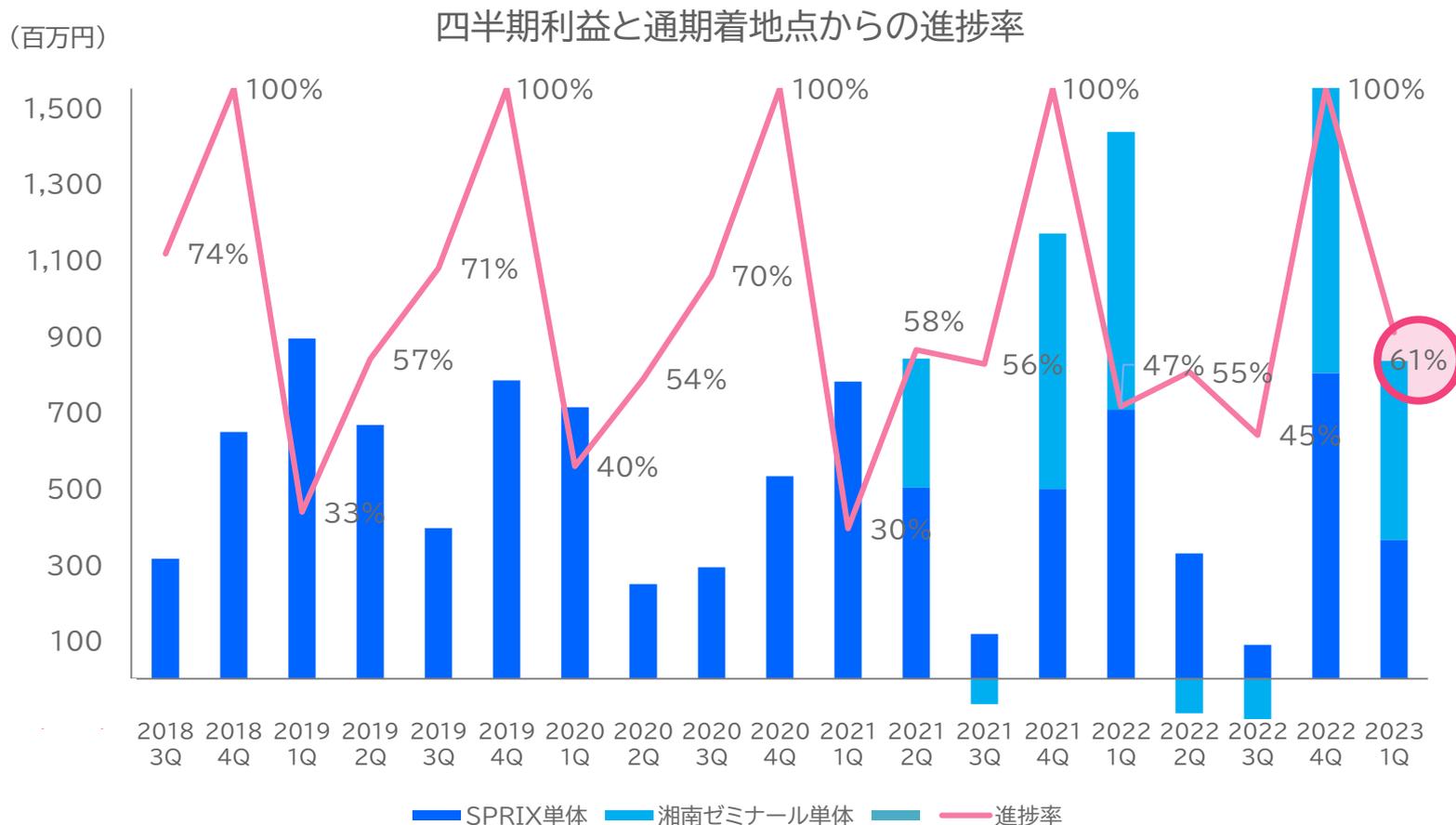
- 売上高同様、営業利益も季節性が現れやすい
- 湘南ゼミナールの事業構造上、業績は1Q(10月-12月)と4Q(7-9月)が牽引する傾向

(単位:百万円)	FY2023 (予想)	FY2023-1Q (実績)	進捗率 (%)
売上高	30,777	7,718	25.0%
営業利益 (利益率、%)	1,226 (4.0%)	750 (9.7%)	61.1%
EBITDA (利益率、%)	2,354 (7.6%)	1,043 (13.5%)	44.3%
親会社に帰属する 純利益 (利益率、%)	674 (2.2%)	454 (5.8%)	67.3%

※連結予想は2022年11月11日に開示したのになります。

# FY2023-1Q — 営業利益(進捗率の季節性)

- 湘南ゼミナールは、1Q(10-12月)と4Q(7-9月)で営業利益の大半を稼ぐ
- 進捗率は61%と良好も、2Q以降に基礎学力事業への投資が本格化、研究開発費が例年より増加する計画であり通期営業利益は予想通りとなる見込み



※営業利益は連結相殺前の数値を表すため、連結営業利益と異なります。

# FY2023-1Q — セグメント別業績

(単位:百万円)	売上高	前同比	営業利益	前同比	要因・トピックス
	4,025	+239 (+6.3%)	1,025	△207 (△16.8%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍においても引き続き業績は堅調</li> <li>(株)湘南ゼミナール運営の森塾もシナジー効果で売上・営業利益ともに増加</li> <li>今期は18教室開校予定</li> </ul>
	2,362	△103 (△4.2%)	469	△95 (△16.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成長のための土台固め期間であり、新規出店は抑制</li> <li>生徒数等に課題</li> <li>今期は4教室開校予定</li> </ul>
	774	△49 (△5.9%)	78	△49 (△38.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成長のための土台固め期間であり、新規出店は抑制</li> <li>生徒数・平均コマ数に課題</li> <li>今期は3教室開校予定</li> </ul>
その他     	555	+93 (+20.1%)	△275	△137 (-%)	<p><u>基礎学力事業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>TOFASを含むCBT for schoolが国内公教育領域で採用伸長</li> <li>プログラミング能力検定は、受験者数でNo.1を獲得※</li> </ul> <p><u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規事業の計画を前倒しし、積極的な研究開発、広告宣伝等の投資を実施</li> <li>PMI効果によるコスト削減等実施</li> </ul>

※ 日本マーケティングリサーチ機構調べ(2022年11月)

# FY2023-1Q – セグメント別トピックス

FY2023(通期見込み)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東圏に「森塾」を18教室開校予定</li> <li>・ 在籍生徒数はコロナ禍以前の水準が見込まれ、新規教室開校の寄与等により堅調な推移の見込み</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「湘南ゼミナール」を4教室開校予定</li> <li>・ 「横浜翠嵐コース」注力により、横浜翠嵐高校合格実績の伸長を図る</li> </ul>	
<p><b>河合塾マナビス</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3教室開校予定</li> </ul>	
<p>その他</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンライン専門個別指導塾生徒数No.1の知名度を活かし、更なる生徒数増の見込み ※1</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間でFC40教室、直営2教室開校予定(期末教室数230教室)</li> </ul>
	<p><b>フォレスト</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河合塾との協業による高校生向け教材の開発を推進</li> </ul>
	<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CBT for schoolが長岡市で正式採用、豊島区では共同研究開始 <b>New!</b></li> <li>・ プログラミング能力検定(プロ検)が受験者数でNo.1を獲得 ※2 <b>New!</b></li> </ul>

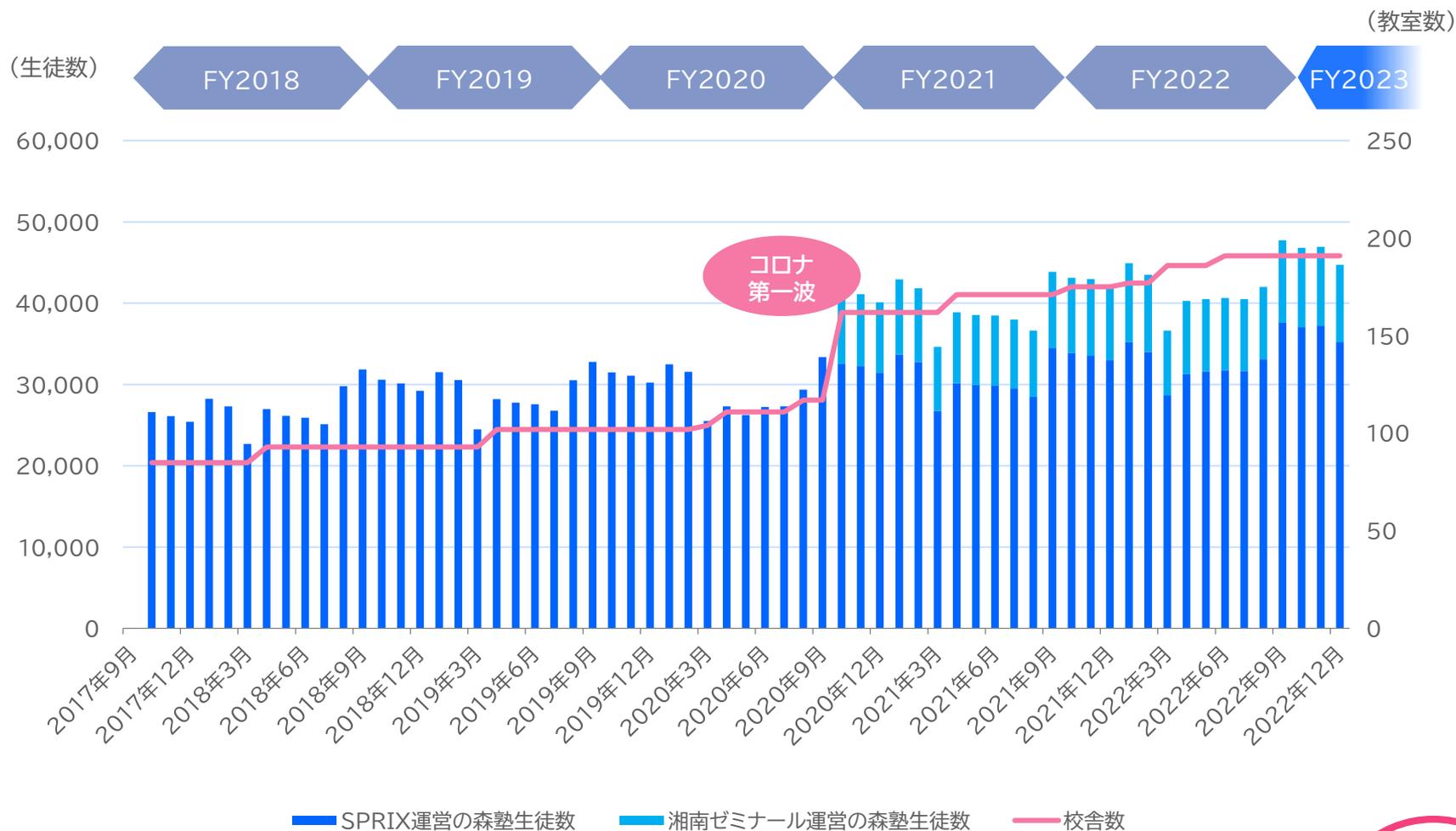
※1 日本マーケティングリサーチ機構調べ(2022年1月)

※2 日本マーケティングリサーチ機構調べ(2022年11月)

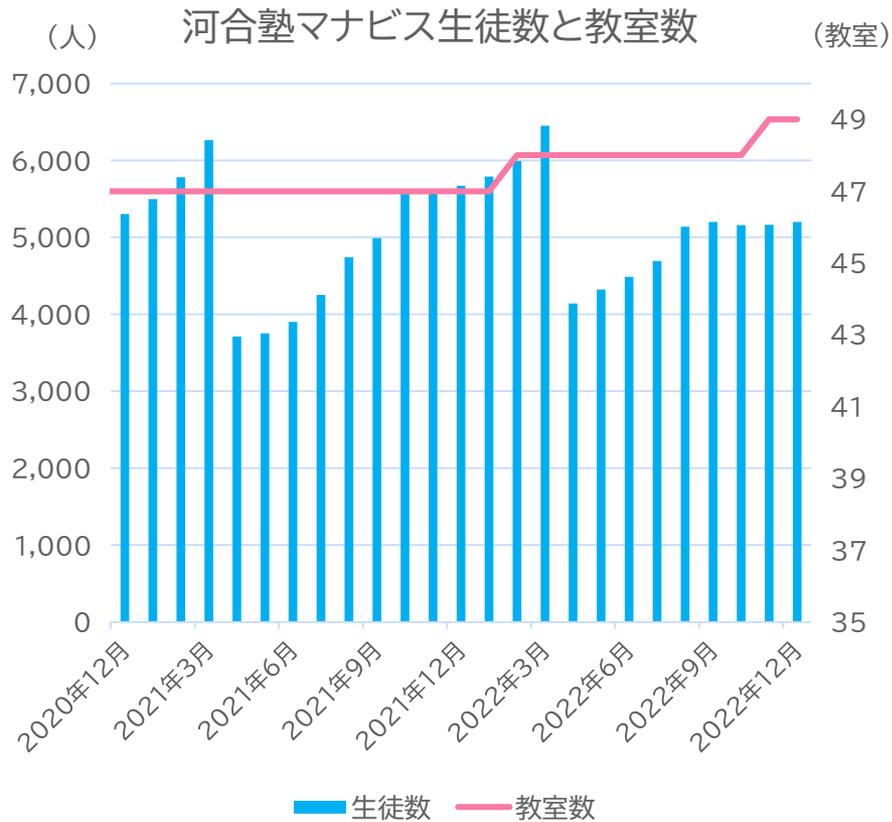
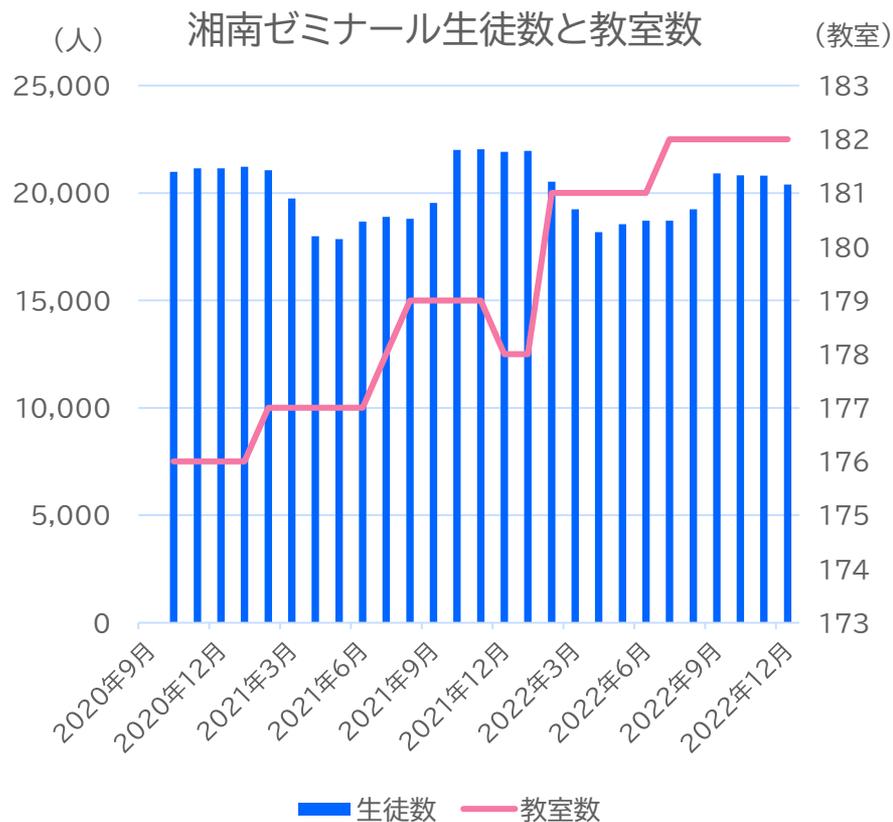
# (参考)森塾の合計生徒数と教室数

- FY2023-1Qの教室数は191教室、生徒数は44,721人

森塾生徒数と教室数



# (参考)湘南ゼミナールと河合塾マナビスの生徒数と教室数



# FY2025に向けた事業戦略について

---

1. MISSIONとVISIONは不変
2. FY2025に向けた事業戦略
3. 戦略 1 学習塾事業の基盤強化
4. 基礎学力事業の海外展開:TOFAS
5. 戦略 2 基礎学力事業のパイオニアへ
6. (参考)キャッシュ・アロケーション

# 1. MISSIONとVISIONは不変

## MISSION

「教育」を通して、世界中の人に  
「人生の新たなステージ(春)」を届ける。

## VISION

「教育」でNo.1へ。

### 短期目標

学習塾事業

成績を上げる

+

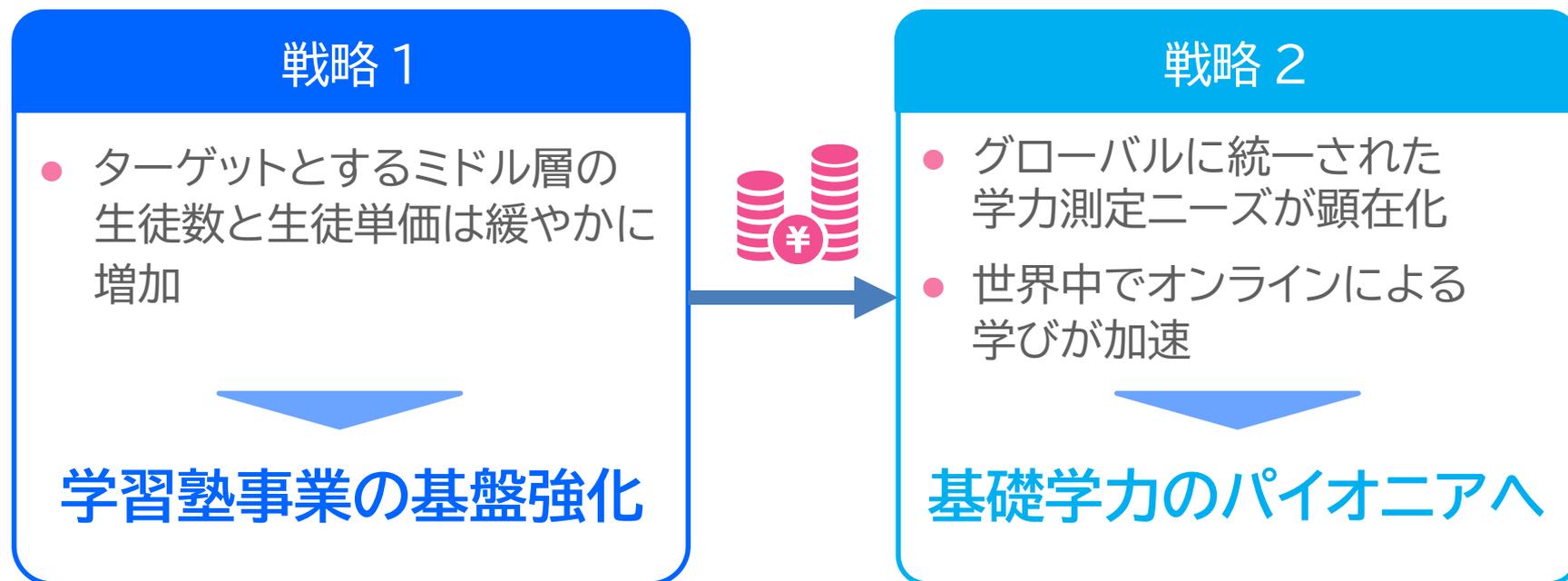
### 長期目標

基礎学力事業

人生の選択肢を広げる

すべての子どもが人生のステージを一段登ることができる世の中に

# 安定した伸びの学習塾事業の収益を 急速に拡大する基礎学力の投資へ



3か年で累計**45億円**を基礎学力事業の投資へ

### 3. 戦略 1 学習塾事業の基盤強化



- 地域に依存しないSPRIXメソッドで開校継続
- 河合塾との提携を活かした高校部の強化

FY2025KPI  
生徒数60,000人  
=250教室×240人/教室



- 合格実績の改善を優先
- マーケティング強化
- ペースは落とすが、継続して年間1~2教室開校予定

FY2025KPI  
神奈川県内トップ校の  
合格実績引上げ



- 大学入試制度の傾向に対応
  - ・ 伝統的な入試⇒AO入試の増加
  - ・ 受験科目の見直しや縮小
- 年間1~2校程度開校予定

FY2025KPI  
50教室超



- 基礎学力を測定する初のグローバルなオンライン検定
- 7カ国語に対応
- CBT(Computer Based Testing)
  - ・ 高スケーラビリティ
  - ・ 試験会場の立地リスクが小さく、低コスト
- 海外の教育省が高い関心を寄せる



フィリピン共和国  
マニラ首都圏教育省と  
TOFASを本格導入の  
覚書を締結



エジプト・アラブ共和国  
の教育・技術教育省と  
協力体制に関する覚書  
を締結

TOFAS

プロ検

国内	<p>TOFAS</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 計算 漢字・語彙 英単語</li></ul> <p>プロ検</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● プログラミング</li></ul>
----	--

海外	<p>TOFAS</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 計算 プログラミング</li></ul>
----	---

受験者数

第1回

5か国

15か国  
累計  
6万人  
以上

25か国  
累計  
15万人  
超

40カ国  
200万人

70カ国  
1000万人

2021年

2022年

2023年

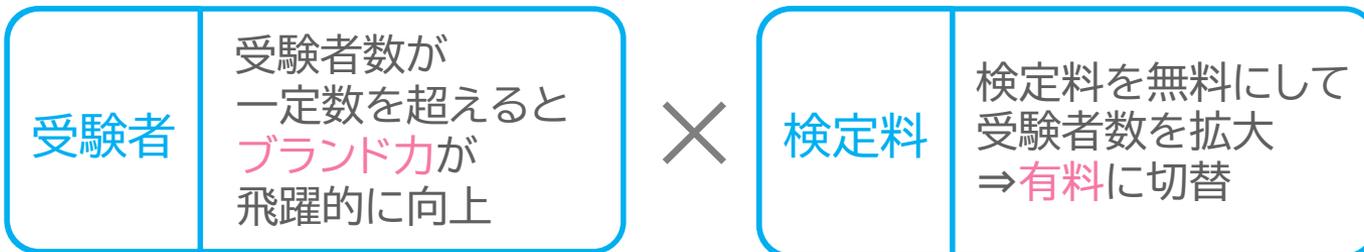
2024年

2025年

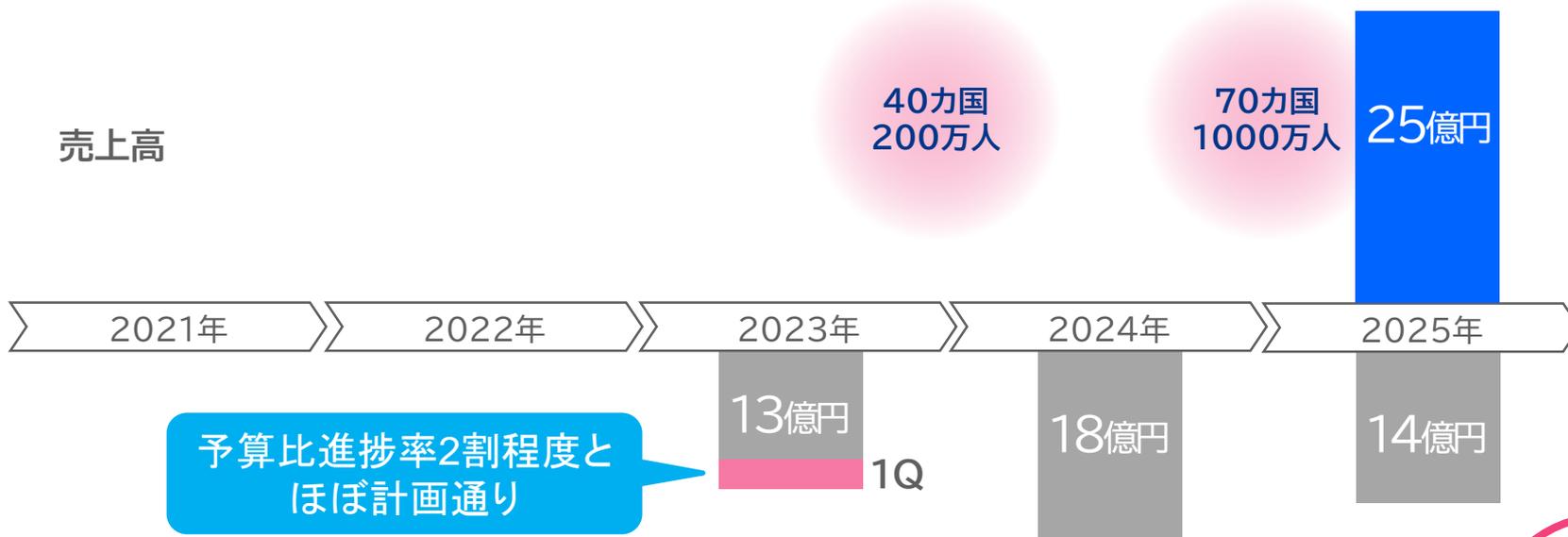
海外におけるニーズは引き続き充分

TOFAS

プロ検

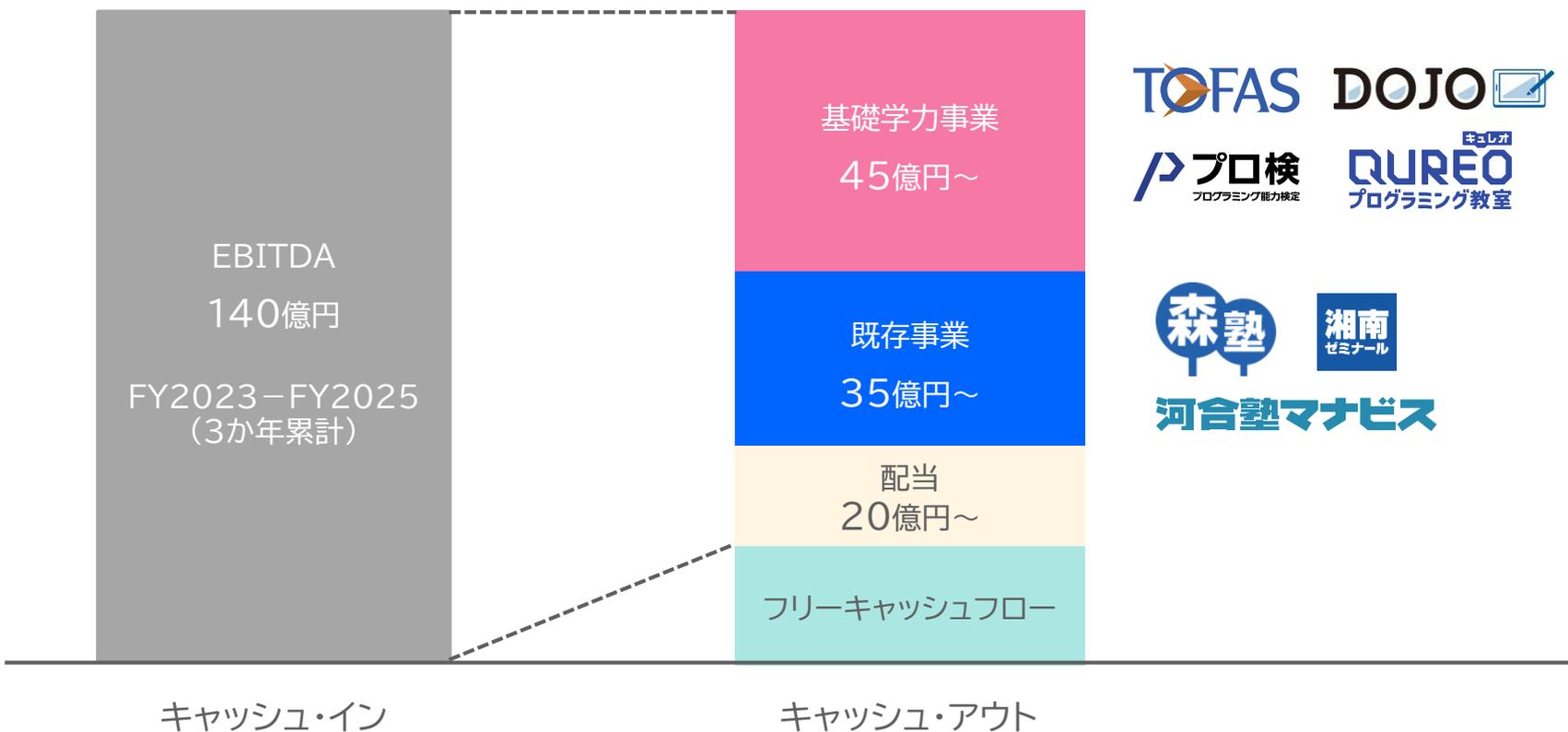


基礎学力事業を収益化へ



## (参考) キャッシュ・アロケーションー3か年計画(FY2023～FY2025)

- 基礎学力事業、および既存事業への投資はEBITDAの範囲内
- FY2023, FY2024はEBITDA減少も、38円の配当を維持予定

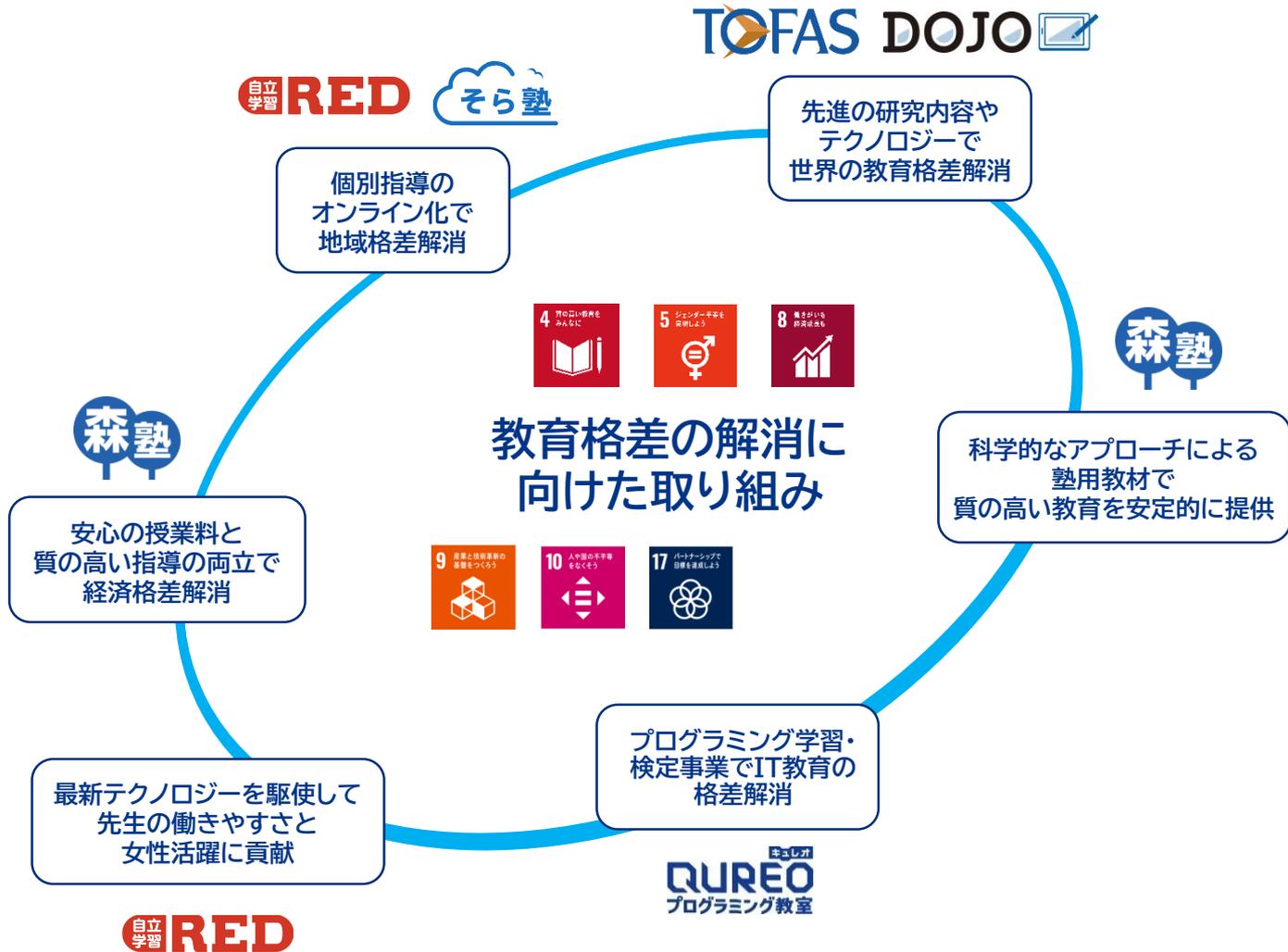


---

## 參考資料

---

# ESGのS(社会)の分野に重点的に取り組む



## 人的資本投資はビジネスモデルの要

- 「教務の仕組み化」で、講師の採用・育成・定着の負担を軽減
- 「やりがい」「コミュニケーション力」を重視することで講師の採用枠を広げる
- 「個別指導で業界シェアNo.1になる」「塾業界をあこがれの職業にする」ことでさらなる人材獲得を見込む



## (参考資料) データで見るSPRIX (ファクトシート)

(単位:百万円)	FY2018 (単体)	FY2019 (単体)	FY2020 (連結)	FY2021 (連結)	FY2022 (連結)	FY2023-1Q (連結)
売上高	10,451	11,410	11,843	25,901	29,352	7,718
営業利益	2,467	2,741	1,787	2,437	2,778	750
EBITDA	2,569	2,851	1,937	3,385	3,938	1,043
総資産	9,967	10,861	11,485	19,277	19,574	20,147
純資産	6,469	7,642	8,091	8,864	9,774	9,933
現金及び現金同等物の期末残高	6,825	6,819	7,308	6,163	2,203	5,749
自己資本比率(%)	64.9	70.4	70.2	45.9	49.8	49.1
売上高営業利益率(%)	23.6	24.0	15.0	9.4	9.5	9.7
EBITDAマージン比率(%)	24.5	24.9	16.3	13.0	13.4	13.5